ハ第二條第一項第一號中修業年限三年ノ學校、女子ノ學校及特別ノ必要ニ依リ臺灣總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ課セサルコトヲ得

第十三條　商業學校ノ學科目ハ便宜分合シテ之ヲ定ムルコトヲ得

第十四條　商業學校ノ毎週教授時數ハ三十五時內トス

第十五條　商業學校ノ高學年ニ在リテハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ一學年ニ付三月內商業ニ關スル實地練習ノミヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條　學校長ハ季節ニ依リ各學科目ノ一學年間ニ於ケル教授時數ノ總計ヲ增減セサル範圍內ニ於テ毎週教授時數ヲ變更スルコトヲ得

第十七條　商業學校ノ教科書ハ臺灣總督ノ認可ヲ受ケ州知事之ヲ定ム

第四章　學年、休業日及式日

第十八條　商業學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ八月二十日迄
第二學期　八月二十一日ヨリ十二月三十一日迄
第三學期　翌年一月一日ヨリ三月三十一日迄

第十九條　毎日ノ教授始終ノ時限ハ學校長之ヲ定ム

第二十條　商業學校ノ休業日ハ左ノ如シ

一　祭日、祝日
二　臺灣神社例祭日、始政紀念日
三　日曜日
四　夏季休業　七月一日ヨリ八月二十日迄
五　年末年始休業　十二月二十九日ヨリ翌年一月五日迄
六　學年末休業　三月二十六日ヨリ同月三十一日迄

學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ前項第三號乃至第六號ノ休業日中適宜教授ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　前條第一項ノ外臨時休業ヲ要スルトキハ學校長ニ於テ事由ヲ具シ州知事ノ認可ヲ受クヘシ

非常變災其ノ他急迫ノ場合ニ際シ前項ノ認可ヲ受クル暇ナキトキハ學校長ニ於テ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　傳染病豫防ノ爲必要アルトキ其ノ他非常變災アルトキハ州知事ニ於テ臨時休業ヲ命スルコトヲ得

第二十三條　商業學校ノ教授日數ハ毎學年二百十日以上トス但シ特別ノ事情ニ依リ設立者ニ於テ臺灣總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

試驗及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十四條　紀元節、天長節祝日、一月一日及始政紀念日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

臺灣神社例祭日ニハ職員及生徒學校ニ參集シ學校長ハ臺灣神社ニ關スル諭告ヲ爲シ一同北白川宮能久親王ヲ奉祀セル神社ニ參拜又ハ遙拜ヲ爲スヘシ

第五章　編制、職員及設備

第二十五條　商業學校ノ生徒數ハ八百人內トス

選科生、專修科生及講習生ハ前項ノ生徒數ニ算入セス

第二十六條　學級ハ同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スヘシ

共通ノ學科目ハ學級ノ異ナル生徒ヲ合シ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十七條　商業學校ノ教員ノ資格ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二十八條　商業學校ノ職員ノ職務ニ關スル規程ハ州知事之ヲ定ム

第二十九條　商業學校ハ其ノ規模ニ適應スル校地、校舍、校具、體操場、寄宿舍及職員宿舍ヲ備フヘシ

第三十條　校地ハ衞生ニ適シ道德上及教授上ニ害ナク且危險ナル場所ニ接近セサルコトヲ要ス

校舍ハ教授上、管理上及衞生上適當ニシテ質朴堅牢ナルコトヲ要ス

第三十一條　校具ハ圖書、器械、器具、標本、模型、商品見本及表簿等トス

第三十二條　商業學校ニ於テ備フヘキ表簿ノ種類左ノ如シ

一　實業學校ニ關係アル法令
二　學則、日課表、教科用圖書配當表及學校醫觀察簿
三　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿、擔任學科目及時間表
四　生徒ノ學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表及徵兵猶豫ニ關スル書類
五　入學試驗及學年試驗ノ問題、答案及成績表
六　圖書、器械、器具、標本、模型、商品見本ノ目錄
七　往復書類

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ經歷、入學、轉學又ハ退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、轉學又ハ退學ノ事由、徵兵事故並保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第一項ノ表簿中生徒學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存シ其ノ他ノ表簿ハ五年以上之ヲ保存スヘシ

第六章　入學、休學、退學及懲戒

第三十三條　學校長ハ學年ノ始ヨリ三十日內ニ生徒ノ入學ヲ許スヘシ

第三十四條　第一學年ノ入學志願者カ入學ヲ許スヘキ人員ニ超過スルトキハ試驗ニ依リテ入學者ヲ選拔スヘシ

前項ノ入學志願者中相當ノ年齡ニ達シ其ノ入學資格相當ノ學校ヲ卒業セサル者又ハ他ノ學校ニ於テ之ト同程度ト認ムヘキ課程ヲ卒ラサル者ニ付テハ試驗ニ依リ其ノ學力ヲ檢定スヘシ

第三十五條　第二學年以上ニ入學ヲ志願スル者アルトキハ相當年齡ニ達シ前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ニ限リ第三十三條ノ時期ニ於テ入學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ學力ハ前各學年ノ各學科目及其ノ程度ニ依リテ試驗ヲ行ヒ之ヲ檢定スヘシ但シ學校長ニ於テ試驗ノ必要ナシト認ムル學科目ニ付テハ之ヲ行ハサルコトヲ得

第三十六條　他ノ商業學校ノ生徒ニシテ轉學ヲ志望スル者アルトキハ試驗ヲ行ハスシテ之ヲ相當學年ニ編入スルコトヲ得但シ學科課程ニ差異アルトキハ其ノ學科目ニ就キ試驗ヲ行フヘシ

他ノ商業學校ヲ卒業シタル者ニシテ入學ヲ志望スル者アルトキハ前項ノ例ニ依ル

第三十七條　生徒ニシテ退學シタル者一年內ニ再入學ヲ志願シタルトキハ試驗ニ依ラスシテ原學年以下ノ學年ニ入學ヲ許スコトヲ得

第三十八條　各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試驗ニ闕席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業ノ成績ノミヲ考査シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試驗ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第三十九條　學校長ハ當該學校ヲ卒業セリト認メタル者ニ卒業證書ヲ授與スヘシ

第四十條　學校長ハ生徒疾病三月以上ニ亙ルトキハ一年內休學ヲ許スコトヲ得

第四十一條　學校長ハ生徒ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
三　引續キ一年以上闕席シタル者
四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上闕席シタル者
五　出席常ナラサル者

第四十二條　學校長ハ教育上必要アリト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章　選科、專修科及講習

第四十三條　商業學校ニ於テハ或學科目ヲ選修セシムル爲選科生ヲ置クコトヲ得

第四十四條　商業學校ニ於テハ主トシテ商業ニ關スル事項ヲ授クル爲專修科ヲ設ケ又ハ隨時講習ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十年府令第八十九號臺灣商業學校規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ存スル前項ノ規則ニ依リ設置シタル商業學校及大正八年府令第六十六號臺灣公立實業學校規則ニ依リ設置シタル商業學校ニ付テハ第五條第一項第四號及第五號ノ事項ニ付設立者ニ於テ本令施行ノ日ヨリ二十日內ニ臺灣總督ニ認可ヲ申請スヘシ

本令施行ノ際前項ノ商業學校ニ現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依リ又ハ之ヲ斟酌スルコトヲ得

告　示

◎內務省告示第百八十二號

大正十一年法律第五十六號市制中改正法律附則ニ依リ大正十一年八月一日ヨリ北海道札幌區、函館區、小樽區、室蘭區、旭川區及釧路區ヲ廢シ各其ノ區域ヲ以テ札幌市、函館市、小樽市、室蘭市、旭川市及釧路市ヲ置ク

大正十一年七月二十六日　內務大臣　水野錬太郎

◎陸軍省告示第十四號

見習醫官二十九名ヲ召募ス依テ志願者ハ左ノ通心得ヘシ

但シ本年ニ限リ見習藥劑官ハ召募セス

大正十一年七月二十六日　陸軍大臣　山梨半造

一　年　齡

大學令ニ依ル大學ノ醫學部ニ於テ修學ヲ了リ學士ト稱スルコトヲ得ル者、外國ノ大學ヲ卒業シタル者　二十年以上三十五年未滿

前項以外ノ者ニシテ志願ノ資格アル者　二十年以上三十年未滿

二　願書類

大正十一年八月十日迄ニ志願票ニ戶籍謄本ヲ添ヘ陸軍部外志願者ハ現住地所管師團軍醫部長ニ、陸軍部內志願者ハ所屬部隊長ニ差出スヘシ

志願票用紙ハ現住地所管師團軍醫部ニ請求（郵送ノ場合ハ貳錢切手封入）スヘシ

◎陸軍省文部省告示第二十九號

南滿洲工業專門學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

但シ認定ノ效力ハ選科生ニ及ハス

大正十一年七月二十六日　陸軍大臣　山梨半造　文部大臣　鎌田榮吉

◎陸軍省文部省告示第三十號

山本農學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス但シ認定ノ效力ハ研究科ニ及ハス

前項ノ認定ハ大正十一年三月卒業ノ者ヨリ之ヲ適用ス

大正十一年七月二十六日　陸軍大臣　山梨半造　文部大臣　鎌田榮吉

◎文部省告示第五百一號

山本農學校

右ハ文官任用令第六條ニ依リ認定ス

但シ認定ノ效力ハ研究科ニ及ハス

本認定ハ大正十一年三月以後ノ卒業者ヨリ之ヲ適用ス

大正十一年七月二十六日　文部大臣　鎌田榮吉

◎文部省告示第五百二號

氣象臺測候所條例第一條ニ依リ左ノ位置ヲ指定ス

大正十一年七月二十六日　文部大臣　鎌田榮吉

北海道室蘭區緑町一番地

◎文部省告示第五百三號

北海道室蘭區ニ大正十一年七月ヨリ室蘭測候所ヲ設立スルノ件認可セリ

大正十一年七月二十六日　文部大臣　鎌田榮吉

◎文部省告示第五百四號

香川縣木田郡下高岡村ニ設置セル香川縣立木田高等女學校ノ位置ヲ同郡前田村ニ變更ノ件認可セリ

大正十一年七月二十六日　文部大臣　鎌田榮吉

◎文部省告示第五百五號

熊本縣立大津中學校ヲ熊本縣菊池郡大津町ニ設置シ大正十二年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

大正十一年七月二十六日　文部大臣　鎌田榮吉

◎農商務省告示第二百四十四號

大正十一年七月二十四日神奈川縣横濱市山下町百六十七番地ローヤル、エキスチェンジ、アッシュランスニ對シ火災保險並海上保險營業ノ件ヲ免許シタリ

大正十一年七月二十六日　農商務大臣　荒井賢太郎

◎農商務省告示第二百四十五號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

大正十一年七月二十六日　農商務大臣　荒井賢太郎

	字	地番	面積
鳥取縣日野郡日野上村大字生山	錢施山	一九ノ二	段畝步 一一〇〇
	同	同ノ三	一九
同石見村大字下石見	落エ	一、八〇六ノ七	[illegible]
	御崎平ラ	一、八〇二ノ四	[illegible]
	同	一、八〇三ノ三	[illegible]
	棚田ノ上	一、七五八ノ六	[illegible]

◎遞信省告示第千三百九十號

大正三年月十一遞信省告示第七百九十九號呼出區域中左ノ通追加シ大正十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年七月二十六日　遞信大臣　子爵前田利定

第2995号　本文